

運営推進会議

期 日：平成 31 年 3 月 26 日（火）

時 間：午後 13 時 30 分～

会 場：城山庵 グループホームフロア

次 第

- ① はじめに

- ② 城山庵の実績及び活動報告

- ③ グループホーム外部評価について

- ④ 小規模外部評価について

- ⑤ その他

- ⑥ おわりに

小規模多機能型居宅介護

平成 31 年 2 月

登録人数 19 人 (男性 1 名 女性 18 名)

平均介護度 1.34

要支援 1…1 名 要支援 2…3 名 要介護 1…9 名
要介護 2…5 名 要介護 3…1 名

平均年齢 85.68 歳

利用統計

	平成 31 年 2 月
通いサービス	257 回
訪問サービス	127 回
泊まりサービス	3 回 (1 名利用)
平均利用回数/1 週間	5.1 回/W

認知症対応型共同生活介護

平成 31 年 2 月

入所者数 9 名 (男性 1 名 女性 8 名)

平均介護度 2.56

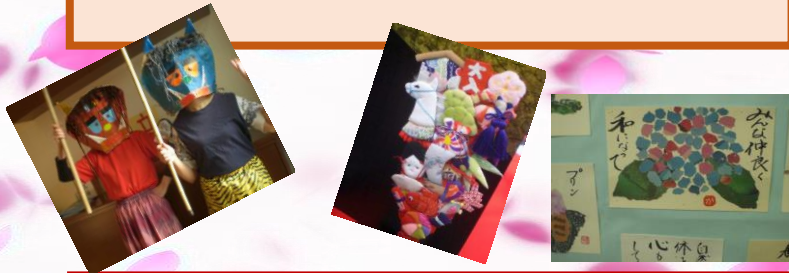
要介護 1…1 名 要介護 2…4 名 要介護 3…3 名
要介護 5…1 名

平均年齢 87.78 歳

城山庵行事報告

《節分 2/5》

鬼に扮した職員に年女の利用者様が豆をまいて厄払いをしました。またボランティア「岡垣ジョイフルの会」の手品や日本舞踊を楽しみました。夕方はGHの居室や小規模の送りの時豆まきをしていただき無病息災を祈りました。



《外食ツアー 2/26〜》

初詣がインフルエンザの流行で延期になっていましたが「外で美味しいものを食べたい!」という利用者様の要望もあり回転寿司を楽しんでいただきました。自分の好きな握りずしやお刺身が苦手な方はサイドメニューの中から選び、食後のデザートまで堪能しました。最新の注文機器を手早く操作する若い職員に利用者様も驚いたようです。

《石丸地区 ひな祭り 3/2》

石丸公民館で開催されたひな祭り会にでかけました。ちりめんできたさげもんや絵手紙等、作品の美しさにみなさん感激されたようです。また利用者様の中には最近会っていなかった知り合いの方に再会でき、懐かしがられていました。公民館の移動では顔馴染みのボランティアさんや地域の方も協力いただきひな祭りを楽しむ事ができました。

《城山庵お雛まつり 3/7》

コーラスボランティアの方をお招きして春にちなんだ歌を聴きました。この方々は毎年おいでいただき、利用者様とも顔なじみになっておられ和気あいあいの時間を過ごせました。



《赤間保育園卒園祝い 3/8》

毎年5月の運動会や童謡祭りにお招きいただいたり、城山庵の文化祭で可愛い笑顔をみせてくれたりと、日頃より交流のある赤間保育園の園児さんの進級のお祝いを持って訪問しました。プレゼントは利用者様に作っていただいた折り紙のこまです。保育園を訪れた利用者様は子ども達の喜ぶ顔を見て「勉強がんばるのよ」「またね」と声をかけていらっしやいました。握手やハイタッチをしたりと子ども達と触れ合う機会がもてました。



《これからの予定》

- 4/14 東郷地区コミセン
「お口のケアと介護予防」
- 4/15 田島区公民館
「みんなで楽しく介護予防」
- 5/9 朝野公民館
「認知症のお話」

《誕生会・お彼岸 3/22》

3月の誕生会に三味線とオカリナのボランティアさんが来られました。この日はお彼岸という事もあり手作りのおはぎをおやつにいただきました。



議事録

平成 31 年 3 月 26 日

平成 30 年度 第 6 回運営推進会議		出席者 平田委員 石松委員 戸丸委員 安部委員 後藤委員
自：13 時 30 分	開催日 平成 31 年 3 月 26 日(火)	城野委員 (小規模多機能利用者家族代表)
至：14 時 50 分	場所 グループホームフロアー	井村委員 (グループホーム利用者家族代表)
議題		淵上委員 (宗像市役所介護保険課)
① はじめに		城山庵：田中 (在宅部長)
② 城山庵の実績及び活動報告		小方 (管理者)
③ グループホーム外部評価について		幸田 (計画作成担当者)
④ 小規模外部評価について		添田 (計画作成担当者)
⑤ その他		書記：添田
⑥ おわりに		
① はじめに	(平田委員) 推進委員について、皆さんからの継続の要望もあり、次期 2 年、委員長として頑張りますので宜しくお願い致します。	
② 「城山庵」の実績及び活動報告 (質疑・応答)	* 添田より資料に添って説明する。	
	(戸丸委員) 石丸公民館の雛祭りや保育園の外出は、全員行かれたのですか？	
	(幸田) 今回は、その地域に馴染みのある方を中心に 4 名お連れしています。	
	(小方) 赤間保育園も 4 名でした。	
	(平田委員) 外食ツアーは何人行かれましたか？	
	(小方・幸田) 2～4 人の利用者を 4 日にわたってお連れしました。利用者にはメニューから選んで頂きました。職員が頼んだ物をみて、「私もこれが良い」と言って、もらって食べられた方もいました。入れ歯の調子が良くない方は、うどん屋にお連れしたり特別食の方は散歩するなど外出の機会を持ちました。	
	(戸丸委員) 外出でボランティアの参加はありますか？	
	(小方) ボランティアもいいのですが、外食や外出では誤嚥や転倒等リスクが伴うので、ボランティアの参加は難しく、職員でお連れしています。以前、御家族に声をかけたことはあります。また、小規模は今回、家族へのアンケートで外出の希望を募りました。	
	(平田委員) 城山庵の雛祭りに来たコーラスボランティアはこちらから要請するんですか？	
	(小方) こちらはたまたま職員が知っているボランティアで、来られるようになって 7 年位なります。今ではあちらから年 2 回は来て下さっています。他には、文化琴、岡垣ジョイフルの会さんは毎年定期的に来て頂いています。	
	(石松委員) 外部からのボランティアはどのようにしてきっかけ作りをするのですか？	
	(小方) 職員の口コミもありますが、コミセンで教室のチラシを見て連絡した事もあります。中には、ボランティア活動をやめられる団体もあるので、常に一つか二つは繋いでいます。	

<p>③ グループホーム 外部評価について (質疑応答)</p>	<p>(石松委員) 社会福祉協議会のボランティアサークルや子どものすくすくサロン等当たってみてはどうですか? 系統だって情報を集められたらいいと思います。</p> <p>* 小方より、今回の外部評価の概要と流れと、目標達成計画を作ったその過程とその内容を、外部評価の資料に沿って説明する。(推進委員には予め資料一式郵送していた)</p> <p>(平田委員) 評価機関は実際調査に来られるのですか?</p> <p>(小方) 1日かけて見にこられて、利用者とお過ごしになり、会話もされ食事と一緒に摂られます。書類の審査もあります。調査項目は、本来、グループホームはこうあらねばならないということが書かれていると思います。職員にはバイブルにしてくださいと言っています。</p> <p>(平田委員) 体験学習に参加した中学生が入職した経緯とは、どんな経緯ですか? それと、意見箱に意見は入っていますか?</p> <p>(小方) ワクワクワークに来た中学生が成人して、城山庵の職員として就職しました。意見箱には意見が入ることはないですね。入っていません。ここでいうアンケートとは家族アンケートです。</p> <p>(平田委員) 意見箱の場所を変えてはどうですか?</p> <p>(小方) どこに置いたら入れやすいですか? 井村さん、御家族の立場ではどうでしょうか?</p> <p>(井村委員) 用紙を定期的に渡し返事は郵送にしたり、意見箱を事務所の前ではなく小規模の玄関のところに置くと入れやすいかもしれません。御意見箱の強化月間を作ってもよいと思います。</p> <p>(小方) ありがとうございます。</p> <p>(井村委員) 接遇ですが職員と利用者との関係は難しいですね。利用者の言動にカーッとなることもあるでしょう。利用者と同一目線がいいのか、少し目線をずらして接するほうがいいのか、何か良い研修はありますか?</p> <p>(小方) 難しいですね。うちは幸いに GH は 9 人の利用者なので、個別のカンファを毎月行い、こういう時にはこういう対応、この人にはこういう対応と研修といった、個別対応を大切にしています。また、同じ事でも 60 代の職員と 20 代の職員とでは受け手の印象も違うのでそこを見極めて一律の説明や対応にならないように努めています。赤間病院も今年度は接遇に力を入れ、全職員丁寧語で話をする。という目標を掲げています。</p> <p>(平田委員) 入院してまた、戻ってこられる方はいますか?</p> <p>(小方) おられます。入院についてはひと月位期間をおいて対応しています。</p> <p>(安部委員) この調査項目は全国一律の評価ですか?</p> <p>(小方) そうです。</p> <p>(安部委員) 細かくは課題があるのですが、大筋はチェックがないので、素晴らしいです。</p> <p>(戸丸委員) 利用者との距離が近いとは、心理的距離のことでしょうか?</p> <p>(小方) そうですね</p> <p>(戸丸委員) 目標達成計画に職業人とありますが、支援者という言葉の方が良いと思いま</p>
--	---

す。

(石松委員) 大項目で一番大事だと城山庵さんが捉えているのはどの項目ですか？その人らしい暮らしを大事にするということですか？目標達成計画はそれに対して立案されたのですか？

(小方) そうです。うちの理念が「利用者が自分らしく生活できる」となっていますので、それに基づいて、大項目Ⅳのその人らしい暮らしを続けるための日々の支援の項目 38 の一人ひとりの尊重とプライバシーの確保から優先順位 1 の目標を立案し、項目 51 の日常的な外出支援から優先順位 2 の目標を立案しました。

(石松委員) 安心・安全は第一ですが、日々の生活の中で自己能力が発揮できる機会を作る事も大事ですね。吉武では、100 歳になった方に先生になっていただいて、クラフトや折り紙や、手芸等参加者に教えてもらっています。人という尊厳を大切に生きていきやうりがいをもっていただいています。認知症の方の生きていきやうりがいさがしは大変だと思います。

(小方) 高齢になられると「何もせんで良い」「あんたたちがしてくれれば良い」と言われる方も多く、それが本当のニーズなのか把握するのは難しいです。プラン作成時に担当者会議をしますが、御家族様にお母さんらしい生活をお尋ねしても、悩まれます。ご本人に昔好きだったことを勧めても自分の出来なくなった事を見たくなくて、「したくない」と言われることもあり、難しいです。でも何もしなければ、認知症が悪化して能力も低下して、私達もたまに叱咤激励をすることもありますが、やればやるほどわからなくなります。

(石松委員) 1人1人違うんでしょうね。外で講演とかされて、一般的な認知症対応を教えておられる人たちが、実際の現場では、こんなに悩んでいらっしゃる。

(平田委員) 多様だからですね。1人1人違うから難しいと思いますね。

(小方) 一般の方がそのような視点に立てるようになったのが、社会として大きな進歩だと思います。そういう時代になったのだと思います。

(平田委員) どんなに腹が立つ事があっても顔に出さずに優しく親切に対応する。自我を抑えてやるのは正直言って難しいが自分自身の教育にもなる。

(戸丸委員) よくお年寄りが「何もしたくない」と言われてそれをそっとしておいた時、次に何をされるか見ることが大切です。「何もしたくない」気持ちに気づいてくれる人を求めているかもしれないし、何かその人の思いがある。それを掴む事が大切だと思います。その上でその人にできること、その人がしたいと思うことを何もかも取り上げずにしてもらおう。残存能力を活用しましょう。

(石松委員) 職員が仕事に追い詰められてストレスがあると心をコントロールできなくなるので、仕事にゆとりを持たせて、職員のストレスコントロールが大切ではないかと思います。

(小方) 比較的、ここの法人はお休みが多いです。本日、職員会議があるので、皆さんの御意見を報告させていただきます。

*グループホーム外部評価の結果は、インターネットより「WAM NET」に掲載されていますのでそちらをご覧ください。

<p>④ 小規模外部評価について (質疑・応答)</p>	<p>*幸田より資料に添って説明した。</p> <p>(渇上委員) 地域講演は職員さんが講師として行かれていますか？ 小方) 管理者と計画作成が対応しています。</p> <p>(平田委員) 身体拘束や虐待はありますか？ (小方) 厚労省があげている項目を行っていることはありません。ただ、言葉による拘束はあると思います。例えば、外に出て行こうとされるのを「まって、今、ダメ」とか、出て行こうとするのを止める言葉です。言い方は注意するよう指導しています。GH は身体拘束委員会を設置しているので職員会議でその報告もしています。何が身体拘束になるのか常に考えるようにしています。</p>
<p>⑤ その他</p>	<p>(渇上委員) 介護保険課よりお知らせです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3/20 に日の里に地域包括支援センターができました。これをもって宗像市内全域に全て地域包括支援センターを配備しました。 ・介護保険課に審査指導係ができました。今後地域密着型サービスについては審査指導係が担当しますが、人事はまだ決まっていません。 <p>(安部委員) 石丸区長の神谷さんに、次期推進委員を交代します。</p>
<p>⑥おわりに</p>	<p>平田委員より、不養生の勧めから、《気にしすぎるな「高血圧」》を紹介される。</p> <p>次年度 第一回推進会議 (城山庵・つたがたけ合同) 日時：5月28日(火) 13:30～ 場所：城山庵 GH フロアー</p>